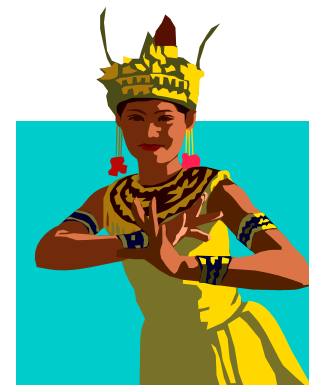


おもしろアイデア インドネシアのブルーオーシャン市場

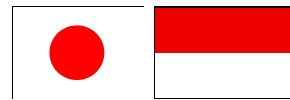


インドネシア進出サポート
小野耕司





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家


独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

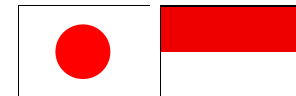
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの
関わりも49
年になりました
た



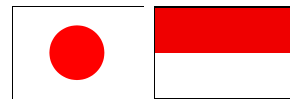
セミナー要旨



- インドネシアはこれからも毎年5%前後の経済成長を続けると期待されます。
- それに合わせ、通貨流通量の70%を占め、一千万人の人口を抱える首都ジャカルタ住民の20%は、年収300万円を超えました。
- 世界第四位の人口2億7千万人が、2050年には3億2千万に膨れる、巨大な消費市場として発展しつつあります。
- そんなインドネシアにおいて、これから需要が期待されるであろう、現在は手付かずの市場、いわゆる『ブルーオーシャン』を、50年にわたるインドネシアとの付き合い、ならびに様々な公式データを基に、少し遊び心を持って、楽しく考えてみたいと思います。
- インドネシアにおける今後の事業戦略構築に、お役に立てれば幸いです。



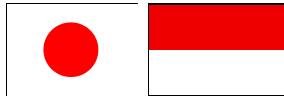
目次



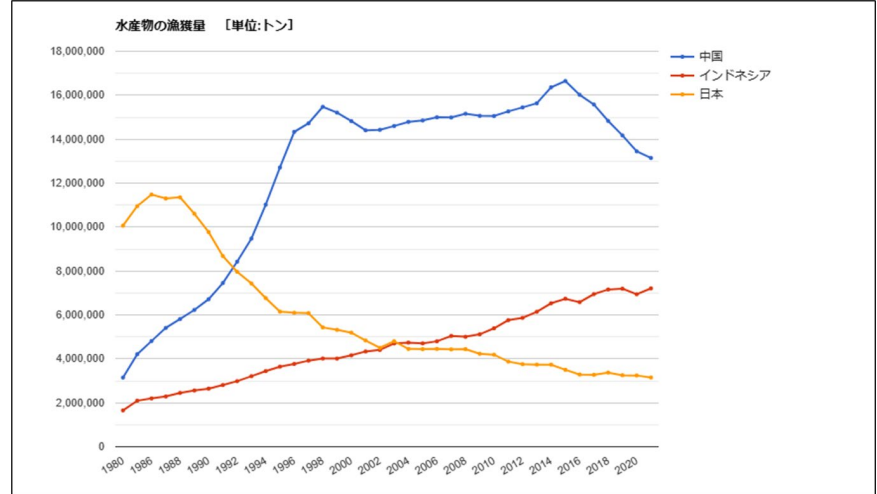
1. 佃煮の製造販売
2. 太陽熱温水器の製造販売
3. 無駄の無い食材の宅配サービス
4. 戸別のソーラー発電機と蓄電池
5. 日本の地区毎ゴミ処理システム導入
6. 公共住宅で耐震性能を証明する
7. レストラン用テーブルファン
8. 畳敷きの礼拝堂
9. 日本の甘いもの全科レストラン
10. 除湿専用エアコン
11. 来客用感染対策器材
12. ムスリム用水浴着
13. ハラルの薬用酒
14. インドネシア風味のキムチ
15. バイク宅配を活用した宅急便
16. 日本ブランド専用オンラインショップ
17. JABODETABEK乗換案内
18. 丁子味葉巻
19. 島別豪華バスツアー
20. 個人・零細事業会社代行サービス



1. 佃煮の製造販売

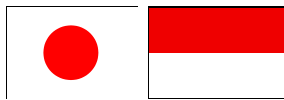


- インドネシアは中国に次いで、世界第二位の漁獲量を誇る。
- インドネシアの領海では大小様々な魚介類が獲れる。
- インドネシア人は佃煮のような甘い食べ物を好む。
- インドネシアは熱帯気候であるが、佃煮は常温状態でも保存可能。
- インドネシア人は日本の伝統的な自然の健康食品に高い関心を持つ。
- 味付けはインドネシア古来の甘辛にする。
- 販売は大手スーパーの日本食コーナーで行う。

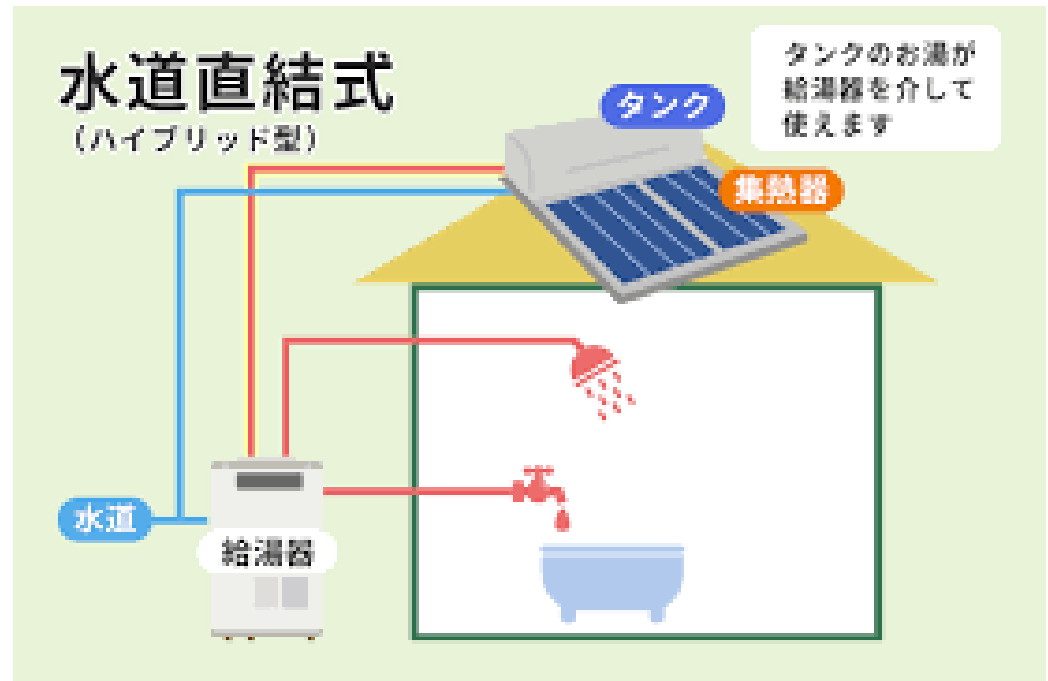




2. 太陽熱温水器の製造販売



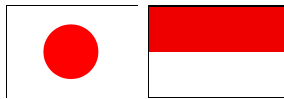
- インドネシアの中流以上の家庭はガス湯沸し器で、シャワー時に温水を使う。
- インドネシアは赤道直下のため、一年中一日の半分は太陽熱を受けられる。
- 中産階級以上を対象とした新規戸建住宅の建設数は、毎年250万軒と推定される。
- 新築住宅の屋根に集熱器を設置して、いつでも温水シャワーを浴びられる。



出展: タイナビ



3. 無駄の無い食材の宅配サービス



- 共働きの間層は年々増加し、ジャカルタの人口の20%は年間300万円の所得。
- インドネシアは古くから外食文化が浸透し、自宅での料理は比較的少ない。
- 高温多湿の気候からも、食材を買い込み長く保管することは出来るだけ避ける。
- 選択したメニューの人数分の食材を宅配してもらい、簡単な調理ですぐに食べれると、無駄も無く便利である。



料理メニューからスマホで配達予約



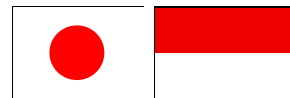
指定日時に人数分の食材セットを配達



簡単な調理で美味しく無駄なく食事



4. 戸別のソーラー発電機と蓄電池

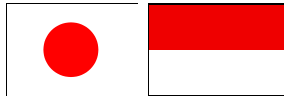


- 全国75,000村の中、2022年時点で約6%の4,700村が未だに無電力。
- インドネシアは赤道直下のため、一年中一日の半分は太陽光を受けられる。
- 将来的に通電するまでの暫定対策として、政府の補助金を基にポータブルソーラー発電機と蓄電池を各家庭に設置する。





5. 日本の地区毎ゴミ処理システム導入

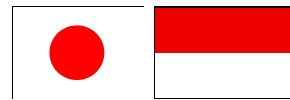


- インドネシア各地の都市郊外に積み上げられたゴミの山は、飽和状態を乗り越えて危機的状況になりつつある。
- 都市全体で解決するのではなく、日本のように地区別にゴミ収集システムと焼却炉を整備すべきである。
- どこかの小さな地方都市と協力して、パイロットプロジェクトとして成功事例を作り、インドネシア全土に展開する。
- そのために、インドネシア政府からの補助金を確保する。





6. 公共住宅で耐震性能を証明する

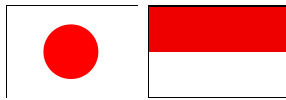


- 高級住宅は重厚長大志向のため、日本の耐震構造を導入するのは難しい。
- 100万戸単位で建設される安価な公営住宅には、日本の耐震構造を適用出来る。
- 公営住宅での耐震性能を実際に証明して見せることで、その利点を周知させる。
- その後、中級、高級住宅に対しても、部分的に耐震仕様を取り入れる。

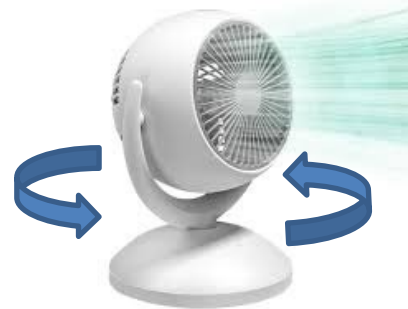




7. レストラン用テーブルファン



- インドネシアにはオープンエアのレストランが多い。
- 日中は結構暑くて、蠅も多いことがある。
- しかし、密室でのエアコン使用を好まないインドネシア人も多い。
- 壁や床に設置された扇風機もあるが、遠くて効果が少ないことが多い。
- そこで、各テーブルの真ん中に置いて、全方向に風を送れるファンが欲しい。

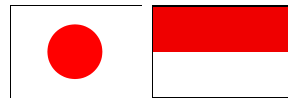


このタイプで360度
自動で回転する機
構にする

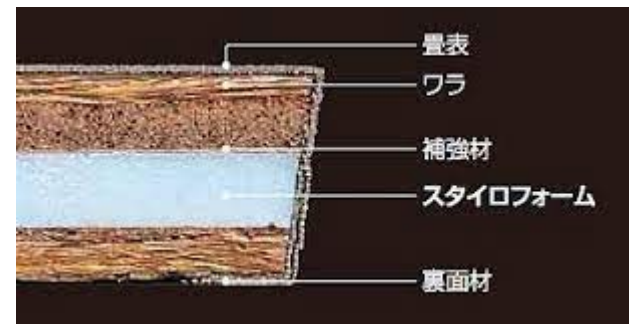




8. 畳敷きの礼拝堂

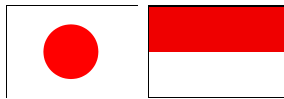


- イスラム教徒の礼拝室や礼拝堂は裸足で入るのが原則。
- 礼拝は立った姿勢から膝を折り、正座に近い形で進められる。
- 通常は硬い床に絨毯を敷いて、その上に立ち、そして座る。
- 日本の畳の上であれば、座り易く、そして涼しい。
- 需要が増えたら現地で製造する。





9. 日本の甘いものの全科レストラン

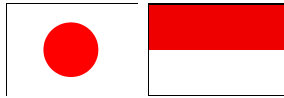


- インドネシア人は甘い食べ物が大好き。
- インドネシア人は日本の食べ物に憧れを抱いている。
- インドネシア人は日本の食べ物が健康に良いことを知っている。
- しかし、日本の甘い食べ物にどんなものがあるのか良く知らない。
- 日本の甘い食べ物を全て揃えたレストランを展開する。
- 飲み物は、緑茶、ほうじ茶、抹茶など、渋いものを提供する。
- 店構えは昔の茶屋風にする。

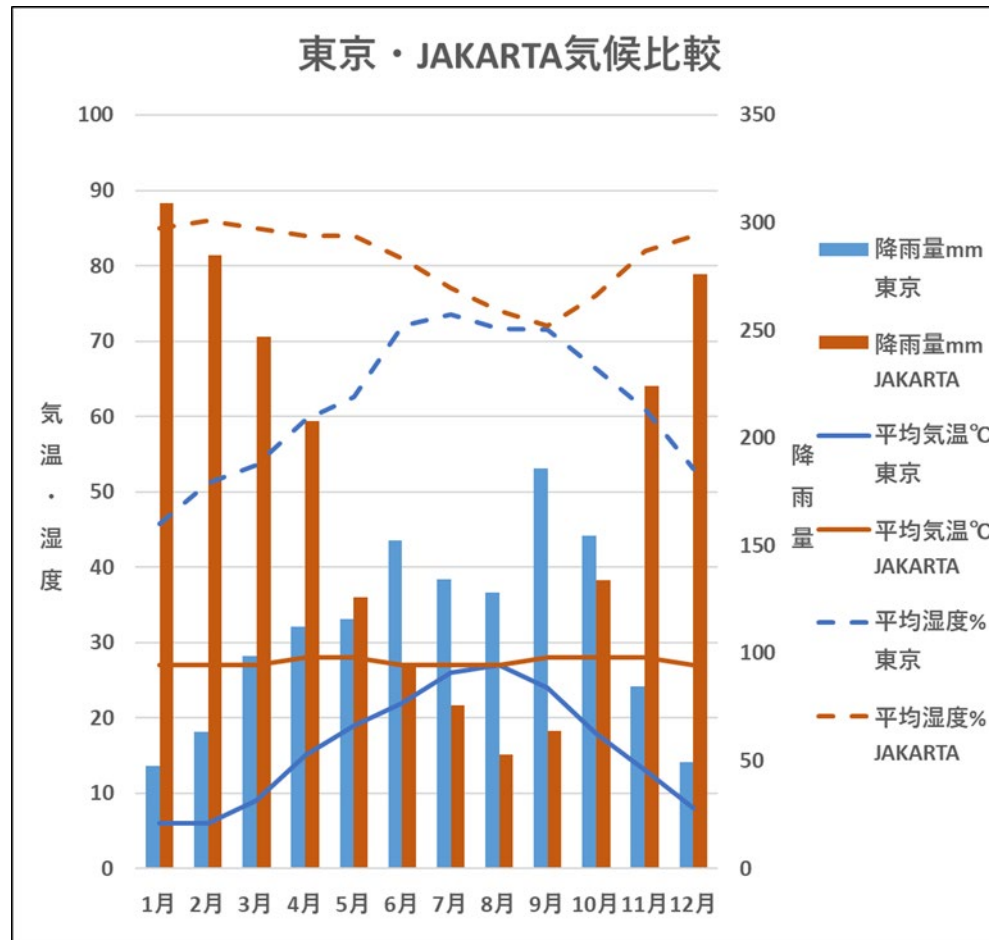




10.除湿専用エアコン

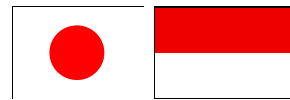


- インドネシアは一年中高温多湿の気候である。
- しかし、平均気温は28℃で猛暑になることは少ない。
- インドネシア人は強い冷房をあまり好まない。
- さほど温度を下げず、適度な湿度の環境の方が好まれる。
- 除湿専用機能で少し低価格のエアコンを販売する。





11. 来客用感染対策器材

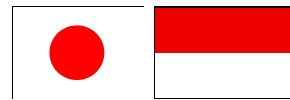


- インドネシアにおいても、公共の場でのウィルス感染対策はマスクと手の消毒のみ。
- 最も効果が大きと言われる喉のうがいが出来る所はほとんど無い。
- 手の消毒と併せ、喉の消毒薬でのうがいは効果大きいと期待される。
- 事務所などの玄関に置ける、手の消毒と喉のうがいが可能な、検温器付きの機器を製造販売する。





12. ムスリム用海水浴着

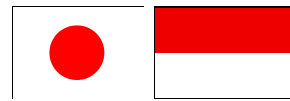


- 2億人を超えるインドネシア全国民の約90%はムスリムである。
- インドネシアには海水浴が出来る多くの海浜公園が存在する。
- インドネシアでは年間を通して海水浴が出来る。
- 所得の増加に伴い、海水浴に出掛けるインドネシア人が増えている。
- しかし、ムスリムの女性は服を着たまま海水浴をする。
- 海水浴に適した生地 of ムスリム用水着を開発し販売する。





13. ハラルの薬用酒



- 1%以上のアルコールを含む飲料は、ハラム(イスラム教で禁止されたもの)である。
- 1%未満であればハラール認証が取れる可能性がある。
- 健康増進の薬用酒として1%未満のアルコール飲料を製造販売する。
- 日本の酒税法でもアルコール度数が「1%未満」の飲料は酒類ではない。



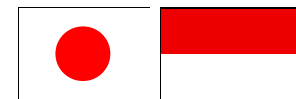
インドネシア伝統生薬ジャムー



日本酒



14. インドネシア風味のキムチ

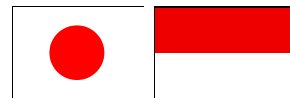


- インドネシア人はご飯のおかずには辛くて、甘いものを好む。
- インドネシアで売られているキムチの多くは本場韓国の味を重視している。
- ハラルでインドネシアの調味料を中心にした、インドネシア風味のキムチを開発する。

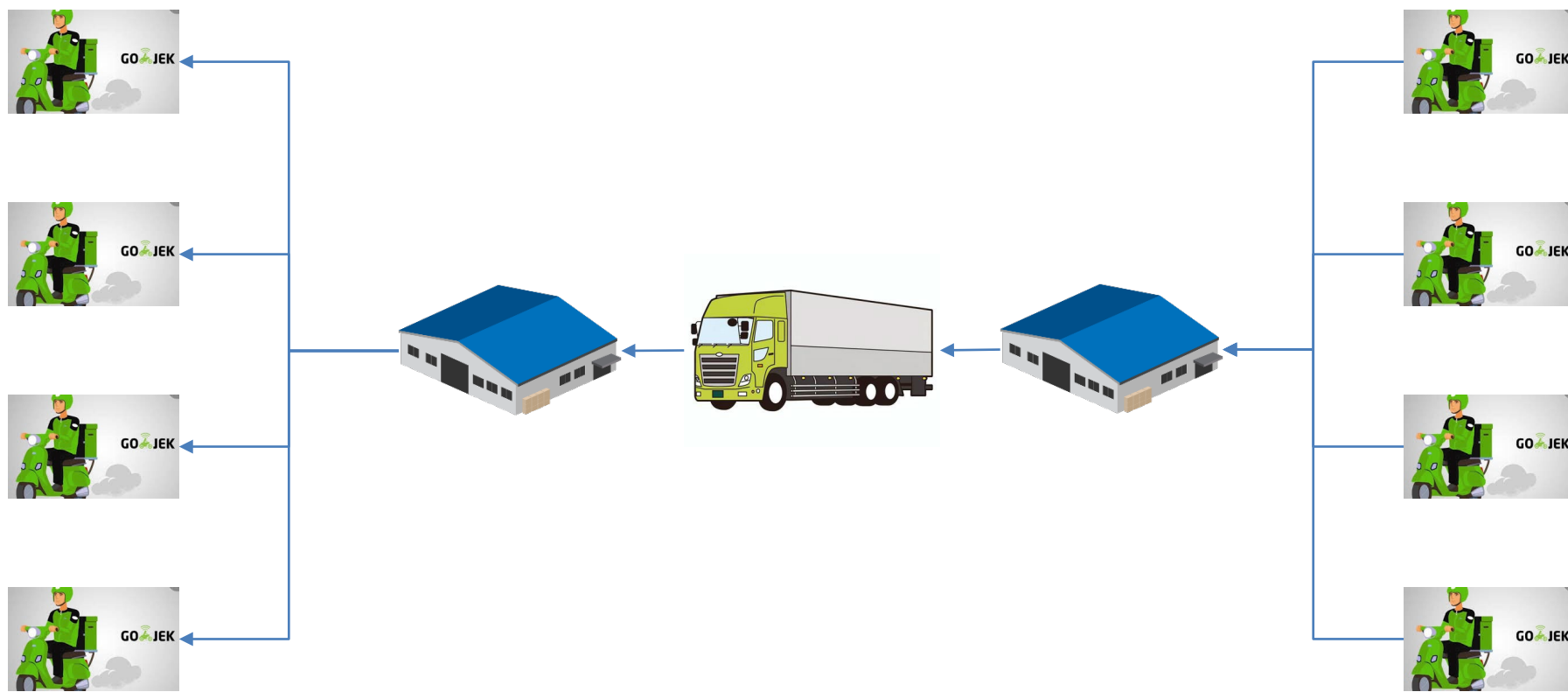




15. バイク宅配を活用した宅急便

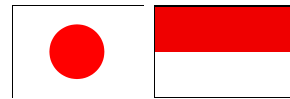


- インドネシアの都市部では、バイク宅配によるラストワンマイルの配送が浸透している。
- しかし、日本のように遠隔地を結んだ宅急便は発達していない。
- 日本の宅急便システムと、バイク宅配を組み合わせた宅配サービスを展開する。

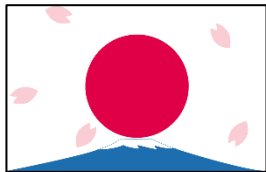




16. 日本ブランド専用オンラインショップ

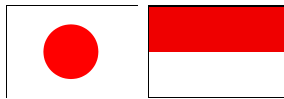


- インドネシア国内のオンラインショップは年々増加の傾向にある。
- 国内産業保護のため、輸入品はUSD100以上の品目に限定されている。
- 高価格でも高品質の日本製の商品を求める、中間層以上の顧客の期待に応える。
- そのために、インドネシア国内に輸入・販売を設立する。
- または、ローカルのオンラインショップ会社と提携して開店する。

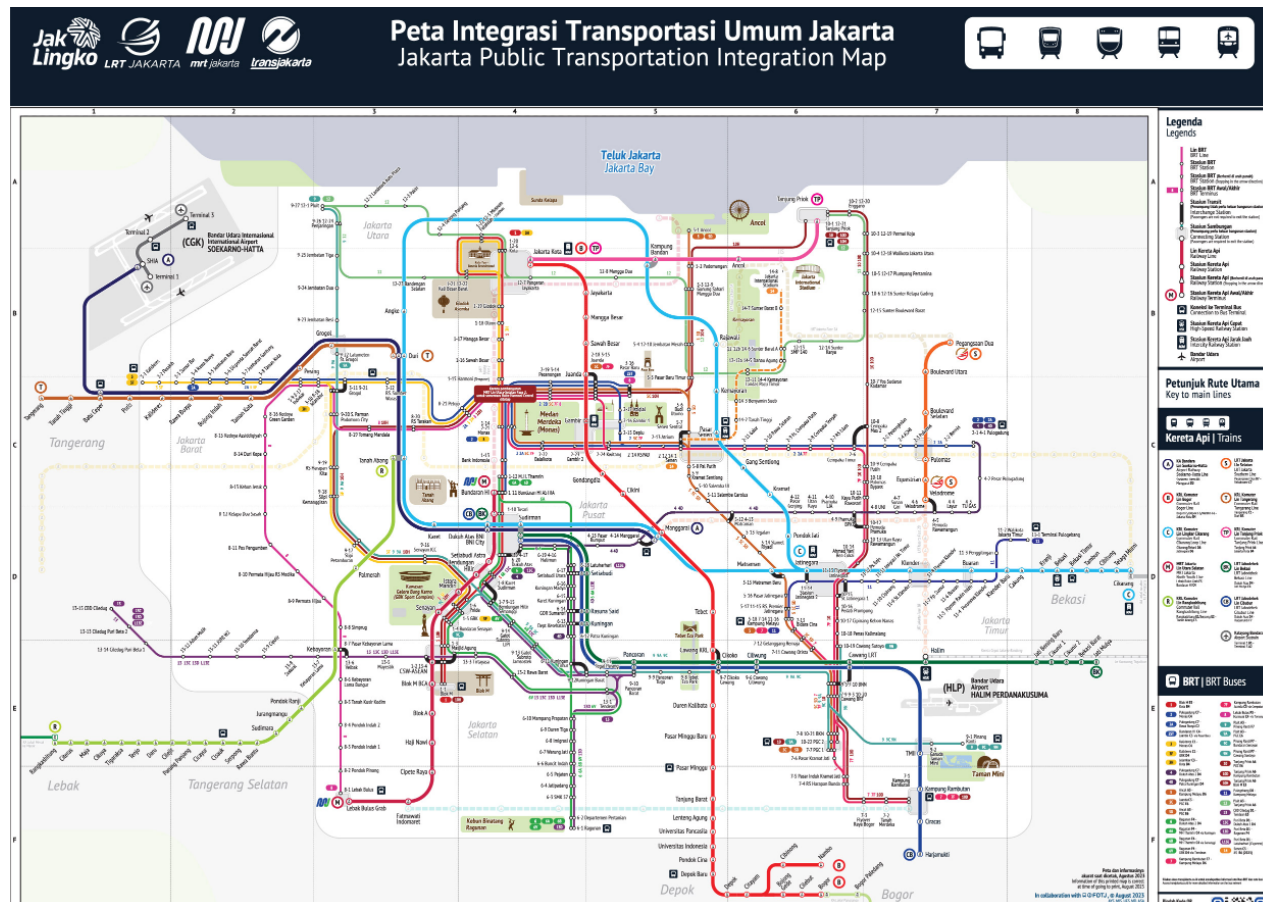




17. JABODETABEK乗換案内



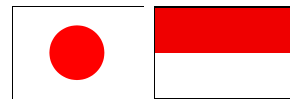
- JABODETABEK圏内の公共交通機関は、今後急速に増えると予測される。
- 交通渋滞を避けるためにも公共交通機関の利用が望まれる。
- しかし、電車、バス、LRT、MRTなど全ての効率的な乗換方法を知る方法がない。
- 日本では既に普通に利用されているような、乗換案内のアプリを開発し公開する。



Jakarta周辺公共交通運行路線図



18. 丁子味葉卷

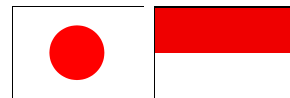


- インドネシアの煙草は、丁子が入った独特の味がする。
- 普通の煙草に比べて葉が詰まっており、多くはフィルターも無く長く吸える。
- その特徴を活かして、煙草と葉巻の中間に位置する、新しい煙草を開発する。





19. 島別豪華バスツアー

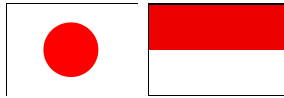


- インドネシアは島別に特徴のある、多くの観光資源に恵まれている。
- しかし、それぞれの観光スポットを訪問するには移動、宿泊、食事などの面で、不安が多い。
- 島別の観光スポットを、安全性と居住性の面で安心出来る豪華バスで巡れるツアーを企画する。
- バスはフェリーを使い島別に順に巡り、各島の観光は1週間の日程に組み込む。
- 参加者はツアーの島内にある出発地空港で乗り込み、終着地の空港で降りる。
- 参加者はバスで移動することで、各島の雰囲気を感じることが出来る。

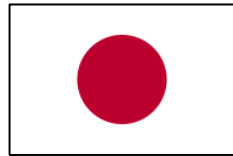




20. 個人・零細事業会社代行サービス



- インドネシアの外資企業は、最低100億ルピア(1億円)の投資が条件となる。
- これは個人事業主や零細企業にとって非常に高いハードルである。
- しかし、内資企業は、最低50百万ルピア(50万円)の投資でが条件である。
- インドネシアの個人あるいは法人に資本金を預託し、その名義で国内企業を設立して事業を行う代行サービスを展開する。



日本側事業者

事業協力の覚書(MOU)を交わす



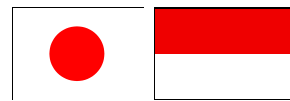
預託金契約を交わして
資本金を送金する



会社を設立する



インドネシア側代行企業



インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
(Googleトップランキング)

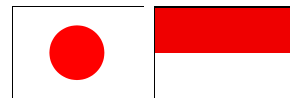
インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で開示されています**



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です